

# ごけん

平成27年

春

号

## 日本語検定 実施予定

平成27年度第1回 (通算第17回)

[一般会場] **6月13日(土)**

[準会場] **6月12日(金)・13日(土)**

[申込期間] **3月1日(日)～5月15日(金)**

後 援：文部科学省／日本商工会議所  
経団連事業サービス／全国連合小学校長会  
全日本中学校長会／全国高等学校長協会  
全国工業高等学校長協会／全国商業高等学校協会  
全国高等学校国語教育研究連合会  
日本 PTA 全国協議会  
全国高等学校 PTA 連合会  
日本青少年育成協会 他

特別協賛：読売新聞社

協 賛：時事通信社／東京書籍



日本語検定公式キャラクター「にほんごけん」

## もくじ

ごけんインタビュー 荒井克弘	— 2
ごけん情報板	— 4
採点室から	— 5
表彰受賞者の声	— 6
第6回日本語大賞 表彰式	— 7
受検団体の声	— 8
にほんごけん にほんご劇場	— 10
受検案内／プレゼント・クイズ	— 12

特定非営利活動法人

 日本語検定委員会

# コミュニケーションの時代に必要な日本語力

## ■印象に残っている言葉—「理想は低く、地面すれすれにもちたい」

—はじめに、印象に残っている言葉や言葉がもつ力についてお聞かせください。

広島大学で教育研究に従事していた45歳くらいの頃だったと思いますが、大学の書籍販売部に行ったときに、筑摩書房から出ている『鶴見俊輔集』12巻が並んでいて、その2巻目の帯に、ひとつの文句が書いてありました。それは「理想は低く、地面すれすれにもちたい」という言葉でした。「理想は低く」というのは feasibility、つまり現実的な可能性というものを示唆していて、「地面すれすれにもちたい」とい

うのは現実よりも少しでも離れていなければならぬということだと思います。ちょうど私が教育政策を研究したいと思っている時期にこの言葉に出会ったので、教育現場の感覚から離れないで、少しでもそれを浮上させる、つまり改善を図っていくことを考えるうえでは、非常に感銘を受けた言葉でした。

この言葉は、抽象的な理想論とは違って、「地面すれすれの理想」という言葉には空論に走るなという戒めがこもっていて、その後も何かある度に思い出し、励まされていますね。

## ■センター試験に見る日本語力と学び続ける習慣

—先生は長年、大学入試のセンター試験とかかわってこられていますが、近年の若者の日本語力をどう見ていらっしゃいますか。

センター試験の国語の結果について分析すると、浪人しても近現代文はなかなか伸びないという特徴が見えてきます。英語や古典は知識の問題なので勉強すればある程度は点数が上がるんですね。しかし近現代文はそうはいかない。日本語の力というのは、生まれて言葉を使い始めたときからずっと日常的に使っている力です。新聞を読んだり本を読んだりする中で常に鍛錬されていて、国語の試験は言わば、その人の資質に近いものを測っているとも考えられ

のが基本的な力として求められると思いますね。聞く力というのは学び続ける習慣と結びついていて、学生時代にその習慣が身につくかどうかはその後の30年、40年の人生を決めていくのだと思います。

そして、もうひとつ。学び続ける原動力になるのは、好奇心です。日本語力を高めるうえでも必要ですが、日々の生活の中で知的好奇心を満たすことは人生を豊かにしますし、そのような小さな喜びを広げていったところに、もっと大きな社会的に意義のある貢献があるのかもしれないですね。

## ■コミュニケーションの時代に必要な日本語力

—現代社会において、日本語力がもつ意味についてお聞かせください。

経済のソフト化が進んだ現代は、コミュニケーションなしに仕事や生活ができなくなっているように思います。第1次・2次産業中心の時代にはモノを作ることが重視されたけれども、第3次・4次産業が主要になった社会あるいは情報化社会になるにつれて、お互いを理解するために「記号」としての言葉を交わすことが重要な職業ツールになってきた。コミュニケーションのための言葉には、言わば通貨のような側面があって、文学のユニークさとはまた違った役割を担っているように思います。

つまり、人はそれぞれ独自の言葉の世界を持っていて、何かを伝えるためには相手と交換可能な通貨を選ばなければならない。おそらく自分が感じていることを伝えるためには、相手にとって分かりやすいように言い換えたり、あるいはリテラシーとして、状況に応じてラッピングをして伝えたりすることが必要になってくると思います。それは家庭の中でもあるでしょうし、



仕事の上司と部下の関係でもあると思います。大学であれば教員が学生を指導するときに配慮しなければいけないということもあると思います。当たり前のことですけれども、言葉を受け取る側の立場で考えることが重要なんですね。

グローバル化と盛んに言われますけれども、日本語より英語が上手くなる（日本語圏に育った）日本人はいません。日本語で相手に伝わるように話せなければ、英語で分かるように話すのは難しいことだと思います。コミュニケーション能力が重視される現代社会では、日本語の語彙力や表現力を高め、相手や状況に応じた言葉遣いをすることが不可欠です。そのために、日本語検定は一助となってくれるはずですよ。

荒井 克弘（あらい かつひろ）

1947年生まれ。専門は高等教育研究、教育計画論。工学博士。広島大学・大学教育研究センター教授、東北大学大学院教育学研究科教授などを経て、現在は、独立行政法人大学入試センター副所長／試験・研究統括官。日本語検定委員会審議委員。著書、論文：『学生は高校で何を学んでくるのか』（編著、大学入試センター）、『大学入試における総合試験の国際比較』（共編著、多賀出版）、『大学入試の可能性』（NIDE現代の高等教育）2014.12所収）など多数。

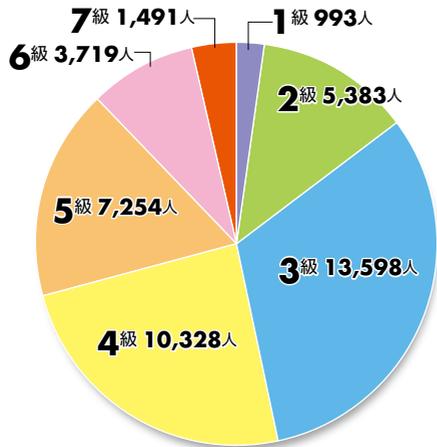
## ごけん情報板

昨年11月に実施いたしました、平成26年度第2回(通算第16回)日本語検定の、各級の受検者数などのデータをご紹介します。

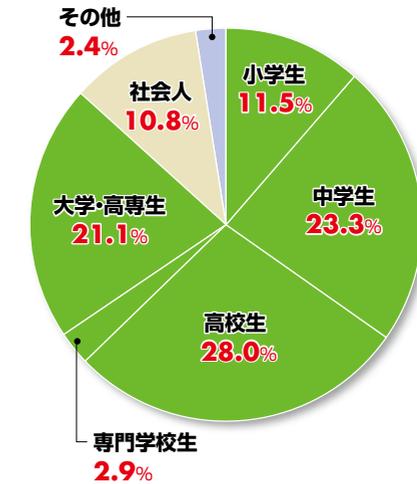
◎平成26年度第2回(通算第16回)

### ■受検者総数と級別受検者数

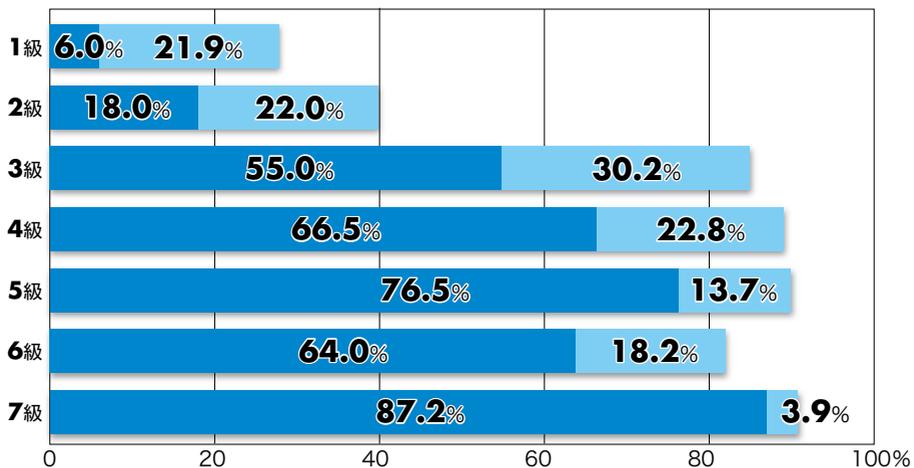
計 **42,766**人



### ■受検者の属性別割合



### ■各級の認定率



## 採点室から

# 「敬語の思わぬ落とし穴」

26年度第2回の問題より

このコーナーでは、11月に実施した平成26年度第2回日本語検定で、特に正答率の低かった問題をご紹介します。今回は敬語の領域で正答率の低い問題が、上位級である1～3級でも見られました。

### ○3級より

問:【 】のような場面で、( )部分はどうな言い方をすればよいでしょうか。最も適切なものを選んで、番号で教えてください。

【上役に来客があることを知らせて】

ただいま山川印刷所の本田様が( )ました。

[1 見え 2 見えられ 3 お見えされ] (答え: 1—正答率 17.2%)

★動詞「見える」には、「来る」の尊敬語としての用法があるので、1「見え(ました)」が適切です。受検者の約7割が、2「見えられ」と解答していましたが、これは尊敬語「見える」に、さらに尊敬の助動詞「られる」を付けた過剰敬語で不適切です。おそらく、「見える」自体に尊敬語の意味があるということ知らずに、2を選んだ人が多かったのではないのでしょうか。なお、3「お見えされ」は、「お～する」という謙譲表現の形が含まれていて、やはり不適切です。

### ○2級より

問:【 】のような場面で、( )部分はどうな言い方をすればよいでしょうか。

\*に示した条件に合う適切な言い方を、解答欄に記入してください。

【病院の理事長就任の挨拶で】

理事長という大任を( )り、身の引き締まる思いで一杯です。

\*敬語を使って「言いつかる」ということを表す (答え: 仰せつか—正答率 29.9%)

★目上の人から命令されることを意味する「言いつかる」を、敬語を使って言う場合は、「言い」の部分で尊敬語「仰(おお)せ」に換えて、「仰せつかる」と言います。近年、「言う」の尊敬語としては「おっしゃる」が一般的になり、「仰せだ」「仰せになる」が日常用いられることは少なくなりましたが、「仰せつかる」はよく使われます。「承(うけたまわ)る」と解答した受検者もいましたが、これは敬語の使い方として正しくても、「言いつかる」の言い換えになっていないので、正答とはなりません。

### ○1級より

問:【 】のような場面で、( )部分はどうな言い方をすればよいでしょうか。最も適切なものを選んで、番号で教えてください。

【受付係が、会議の会場を尋ねられて】

木村様、お待ちしております。会議室は11階にございます。

左手のエレベーターで11階まで( )。

[1 お進みください 2 いらっしゃってください 3 お行きください 4 お越ししてください] (答え: 2—正答率 11.3%)

★11階まで「行ってくれ」ということを尊敬語で、2「いらっしゃってください」と言うのが適切です。受検者の8割以上が1「お進みください」を選択していましたが、これは尊敬表現の形として正しくても、エレベーターで「上がる」ことを「進む」と表現している点が、日本語として不自然です。なお、「行く」は「お～ください」の形は用いないので、3「お行きください」も不適切。また、4「お越ししてください」も、「お～する」という謙譲表現の形が含まれていて、やはり不適切です。

## 表彰受賞者の声

平成 26 年度第 2 回日本語検定 団体表彰・個人表彰のダブル受賞となった、高知大学教育学部附属中学校から、喜びの声をいただきました。

### ●団体受賞校の声●

#### 東京書籍賞優秀賞

高知大学教育学部附属中学校  
日本語検定担当 今村有紀先生

この度は、榮譽ある賞をいただき、ありがとうございます。

実は、本校ではここ数年日本語検定を実施していなかったのですが、生徒が各種検定受検に対して意欲的なので、国語科で相談して実施することに決めました。しかし、担当者自身も問題を見たことがなく、生徒がどれくらい申し込みをするのか不安がありました。そこで、送付資料に同封いただいた過去問題を図書室で閲覧できるようにしたところ、申し込み締め切り日に教えてみれば、延べ 20 人の申し込みとなりました。自分の力に見合った級を選んだ生徒もいれば、少し上の級にチャレンジした生徒もいました。

日本語検定に向けての学習は、学校では特に行わず、生徒たちが個人でしました。ですから、各級の合格は、生徒一人ひとりの努力の賜物です。

そして、井上桃摩君が最年少で 2 級を取得し、時事通信社賞 2 級最年少最優秀者賞という素晴らしい賞をいただけることになり、本校教職員一同、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。本人も、客観的に目に見える形で、自身の日本語力のレベルの高さを知ることができ、自信になったのではないかと思います。級をまたがってダブル受検できる制度も、思い切って上の級にチャレンジでき、こうした結果につながったのではないのでしょうか。

今後も、生徒の学習のきっかけや励みとなるよう、日本語検定に取り組んでいきたいと思えます。

### ●個人受賞者の声●

#### 時事通信社賞 2 級 最年少最優秀者賞

高知大学教育学部附属中学校 2 年  
井上桃摩さん

今回、このような素晴らしい賞をいただくことができ、大変嬉しいです。この検定を通して、日頃使っている日本語の奥深さに改めて気づきました。今回の受賞に慢心せず、今後も自らの日本語を磨いていきたいです。



## 第 6 回日本語大賞 表彰式

### テーマ：「今、伝えたい言葉」

去る 2 月 22 日、第 6 回「日本語大賞」(主催：日本語検定委員会)の表彰式が、東京都北区の東書ホール(東京書籍本社)で行われ、文部科学大臣賞受賞者 4 人が表彰されました。

計 1,694 点の応募の中から、第一次、第二次、最終審査に亘る厳正な審査の結果、4 部門それぞれで、文部科学大臣賞、優秀賞、佳作が選ばれました。



### 文部科学大臣賞

- 小学生の部 **神部 野乃子さん** 「『ありがとう』にチェンジ！」  
湘南ゼミナール中川教室 小学 6 年
- 中学生の部 **長南 直弥さん** 「もっけだの」  
早稲田大学高等学院中学部 2 年
- 高校生の部 **中野 汀さん** 「日本にしかない言葉」  
シアトル日本語補習学校 高等部 2 年
- 一般の部 **市川 睦美さん** 「『お互い様』のお蔭様で」

表彰式は、審査委員でフリーアナウンサーの梶原しげるさんの司会で進行しました。主催者代表の梶田叡一理事長の挨拶、審査員代表の吉元由美さんの全体講評に引き続き、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課の楠目聖 民間教育事業振興室長より、文部科学大臣賞が授与されました。

\*文部科学大臣賞と優秀賞の作品は、日本語検定公式ホームページでご覧になれます。

## 「言葉によるコミュニケーション能力の向上」

公益社団法人スコレ家庭教育振興協会  
事務局長 小俣富雄さん



スコレ家庭教育振興協会は、「家庭は社会の根である」と捉え、家庭を基点とした生活学習、共同学習、体験学習によって自分を熟成させるための各種事業を全国展開している公益社団法人です。家庭生活は、子育てだけでなく親子関係や夫婦関係など、生活全般にわたります。これらを円滑に進めるには、どうしても言葉によるコミュニケーション能力を必要とします。日本語検定委員会の「言葉の力を身につける原点は家庭にある」との認識は、当協会のそれと共通しています。その関連から「日本語検定」事業の後援団体の一員にもなりました。

昨年秋、子育て中の複数のお母さんから、「自分の日本語の実力を知りたい」との要望が出てきました。強制的な受検ではなく、自らを育てていく前向きな自発心こそ、当協会が目指すものですので、ようやくその機が熟してきたといえます。

11月、初の団体受検を実施。試験慣れしている若手ママや子どもは余裕の表情でしたが、中年以上のお母さんお父さんは「やさしいとなめたのが間違いでした、思ったより難しい」と真剣な表情で取り組んでいました。「日本語を改めて見直すきっかけを作ってくれた」「家族で受検したが、家族の絆が一層深まった」という感想が寄せられました。

今後の受検者数増加を期待しています。

## 「インターでこそその検定の意義」

コロンビアインターナショナルスクール  
大澤由紀先生（日本語担当教師）

日本語検定が創設された2007年から、小学課程の全児童（小学1～6年）を対象に、年に一度検定試験を実施してまいりました。質の高い第2、第3言語の獲得には、優れた第1言語の確立は欠かせません。そのため、当校では、インターナショナルスクールという教育環境においても日本語教育を重視し、主要科目の一つに位置づけて、毎日1時間、文科省検定教科書を使用した第1言語レベルの日本語教育の指導に注力しております。

その中で日本語検定は、教師にとっても生徒にとっても、日々の学習活動の成果や長期的な成長を客観的に測るうえでとても役立っており、また検定に合格することで、子ども

## 「言葉の力」を高めるために

佐賀県杵島郡江北町立江北中学校

現行の学習指導要領では「言葉の力」が重視され、学習活動の多様な場面での言語活動の充実が求められています。本校でも学習指導要領に則り、授業改善の工夫を重ねているところですが、本校の生徒の状況をみるとやや課題がある部分も見うけられました。各教科等の授業場面で教科書や副読本を正確に理解したり、論述や発表の場面で不十分であると感じられることが少なくありませんでした。やはり、新しい知識を学んだり、お互いに意見交流をし、考えを深めるためには、何よりも言葉の存在が重要になります。

これまで本校では、3種類の検定試験を実施してきましたが、職員の中から「これらの諸検定への取り組みがどうも学力に結びついていないのではないか」という声もちらほら聞こえてきていました。ある特定の領域の検定試験も必要であるけれど、生徒の学習を支える言葉の力を高める取り組みも必要であると考えていたところ、日本語について6つの領域から出題され、総合的な力を測ることのできる「日本語検定」を知り、平成25年度より実施しています。

受検した生徒の感想には、「日常使う言葉の感覚を鍛えることができる」「敬語、漢字、文法などを幅広く学習できる」「今の自分の日本語の力がどの程度なのかが分かった」「高校入試の勉強に役に立つ」「普段使わないようなことわざや慣用句の意味や使い方が分かるようになった」等の意見が寄せられており、手応えを感じているところです。さらに生徒の「言葉の力」を高めるために、「日本語検定」を活用していこうと考えています。

達の学習意欲向上に繋がっております。検定試験を導入して8年経つ今では、小学生の段階においても3級や2級に挑戦する児童も出てまいりました。さらに、進学や留学の際に、インターナショナルスクール出身の生徒達が、英語力のみならず、日本語力も身につけていることを客観的に示せる資料としても提示でき、生徒一人ひとりの日本語学習における習熟の目安としても大変強く意義深いものになっております。





絵：福政 真奈美

たぬき かわざんよう  
「捕らぬ狸の皮算用」

手に入るかどうかわからないものを当てにして計画を立てること。  
まだ狸を捕らえていないうちから、狸の皮がいくらで売れるか儲けの計算をすることから。



時事通信社の専門情報誌

60 年余にわたる実績と信頼

内外教育 厚生福祉 地方行政 税務経理 金融財政Business

週2回お手元にお届けします

- 内外の一流執筆陣、第一線記者らの的確な解説と迅速な情報
- 実務家のためのノウハウ、実例を満載、資料・データも豊富

時事通信社 104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 お問い合わせは 事務局 事業部 jigyokikaku@grp.jiji.co.jp www.jiji.com

教育における能力と可能性を導く最前基地となることを目指して  
さまざまなシーンをサポートしてまいります!

学力調査 特別支援教育 教育シンポジウム 教育機関誌  
意識調査 体力テスト 授業評価 教員研修 学校評価

エデュフロント 企画・制作・コンピュータ処理・運用 学習調査エデュフロント

本社 〒114-0004 東京都北区豊船 2-17-1  
Tel: 03-5390-7556 Fax: 03-5390-7583  
http://www.edufront.co.jp/

教育の印刷・信頼の技術  
株式会社 リーブルテック

教科書印刷で培った知識と技術を未来へ伝える

王子本社：〒114-0004 東京都北区王子1-23-31 tel: 03-3927-6411 (代)  
埼玉工場：〒347-0004 埼玉県加須市古川12-3-1 tel: 0480-66-4761  
http://www.livrettech.co.jp/

平成27年度  
第1回  
日本語検定  
受検案内

[一般会場] **6月13日(土)**  
 [準会場] **6月12日(金)・13日(土)**  
 [申込期間] **3月1日(日)～5月15日(金)**  
 [実施都市] 全国の約100都市で実施予定

[受検級の目安と受検料] ※受検料は税込価格です。

受検級	各級のレベル	受検料	受検の目安						
			社会人	大学生	高校生	中学生	小学校高学年	小学校中学年	小学校低学年
1級	社会人	6,000円							
2級	大学卒業程度	5,000円							
3級	高校卒業程度	3,500円							
4級	中学校卒業程度	2,000円							
5級	小学校卒業程度	1,500円							
6級	小学4年修了程度	1,500円							
7級	小学2年修了程度	1,400円							

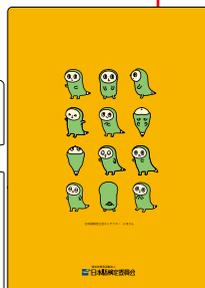
公式ホームページ <http://www.nihongokentei.jp>

プレゼント・クイズ

問題：「にほんご にほんご劇場」で取り上げた慣用句は何でしょうか。  
 ○の部分を持って完成させてください。

『捕らぬ狸の○○○』

抽選で5名様に、オリジナル『にほんごクリアファイル』『にほんごメモ』セットをプレゼントいたします。はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先（お電話番号またはメールアドレス）を明記のうえ、日本語検定委員会までお送りください。平成27年7月1日の消印まで有効です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。  
 （応募の際の個人情報は、本プレゼント以外には使用しません。）



特定非営利活動法人  
**日本語検定委員会**

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1

【お問い合わせ先】 **0120-55-2858**

<http://www.nihongokentei.jp>

ごけん 平成27年春号 (No.17)